

## 放射性物質全域調査及び土壌回収作業進捗状況(平成17年11月)

実施項目		実績(11月)	予定(12月)
所内 全域 調査	1. 第1次調査	調査結果報告書作成。文部科学省による現地確認	近隣住民への説明会開催 (12月10日)
	2. 第2次調査	(平成18年4月から開始予定)	
土壌 回収 作業	1. 回収計画立案	回収作業手順の検討	同左
	2. 準備作業	(平成18年1月から開始予定)	
	3. 回収作業	(平成18年4月から開始予定)	
その他	1. 放射性廃棄物量	11月30日現在、200リットルドラム缶152本、1.5m <sup>3</sup> 角型容器2,756個、2m <sup>3</sup> 角型容器828個。200リットルドラム缶換算で合計29,102本。なお、NDC社の放射性廃棄物量は、1.5m <sup>3</sup> 角型容器で1,180個(200リットルドラム缶換算8,850本)	
	2. 旧核燃料試験研究施設整備	最終確認作業を実施(ボーリングコア採取試料の一部について分析作業を追加。その結果、汚染土壌が回収されたことを確認)	

以上